

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2023年度第1回事業普及委員会議事録

- I. 日 時： 令和5年4月15日（土）17:00～19:00
配信場所： 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局（Zoomによるオンライン会議）
- II. 出席者 今泉委員長、波多野委員、尾崎委員、西浦委員、木村委員、歌代委員(すべてネット出席)
(事務局：井端事務局長、中村)

III. 検討内容

1. 2023年度機関誌 No.1（6月号）の企画について

① 巻頭言は、専修大学に依頼することにした。

② 特集は、学びの環境を改善し、質の向上が期待できる ICT を活用した私立大学における多様な分野での授業改善の取組みを紹介することとし No.1（6月号）では、授業改善白書や ICT 利用による教育改善研究発表会で紹介されたものから「学びの質向上に向けた ICT 活用の取組み(その1)」として紹介することにした。掲載依頼原稿は以下とし、依頼先の承諾を得て掲載することを確認した。

- ・「全国規模の大学でオープンに学び合うオンライン民法討論会」（仮題）
京都産業大学 高畠英弘 氏
- ・「オンラインと対面を融合したホテル企業との産学連携授業」（仮題）
淑徳大学 吉田雅也 氏
- ・「授業中、Google フォームに意見等を書き込み全員で共有、深い思考」
ノートルダム清心女子大学 森 泰三 氏
- ・「オンデマンド授業で感想や質問を毎回 Respon でフィードバック」（仮題）
大妻女子大学 木下 勇 氏
- ・「大規模公開オンライン講座 (MOOCs) を活用した留学代替プログラム」（仮題）
東京女子大学 鈴木夏代 氏
- ・「基礎化学実験における LMS を活用したハイブリッド授業とデータサイエンス導入の試み」（仮題）
明治大学 小池裕也 氏
- ・「ゲーミフィケーションを取り入れた反転授業の実施」（仮題）
工学院大学 金野祥久 氏
- ・「演習でオンラインを活用して「場の力」を創出する」（仮題）
名古屋学芸大学 谷口友帆 氏
- ・「LMS 上で復習テストと振り返りによる学習意欲の向上」（仮題）
北海道情報大学 穴田有一 氏
- ・「ICT を活用した統計分析ソフト『R』を用いたデータサイエンス学習」（仮題）
金沢工業大学 西 誠 氏
- ・「流体力学の反転授業で学修ログを取得、学修効果の可視化」（仮題）
芝浦工業大学 角田和巳 氏
- ・「鳥取におけるまちづくり提案を ICT を用いて住民に学生が発表」（仮題）
共立女子大学 高橋大輔 氏
- ・「ハイブリッド授業における双方向性を向上させる授業方法」（仮題）
中京学院大学短期大学部 由良 亮 氏
- ・「ZOOM を用いた TBL で討論・発表を行い、教員からフィードバック」（仮題）
東京女子医科大学 茂泉佐和子 氏
- ・「ICT を用いた多職種連携の試み(歯科と栄養学科の大学間合同授業)」（仮題）
東京歯科大学 大久保真衣 氏

③ 前号では、令和4年度に「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム(リテラシーレベル)プラス」に選定を受けた6つの大学のうち3大学の取組みを紹介しており、今回は引き続き残り3大学の取組みを「数理・データサイエンス・AI 教育の紹介(その5)」として以下依頼先の承諾を得て掲載することにした。

- ・弘前大学：数理・データサイエンス・リテラシープログラム
- ・群馬大学：数理・データサイエンス・AI 教育プログラム (リテラシープラス)
- ・豊橋技術科学大学： GIKADAI 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

④「私情協ニュース」は、以下を掲載することを確認した。

- ・2023年度事業計画
- ・役員・各種委員会委員等
- ・2023年度行事日程・加盟校の特典

⑤「事業活動報告」は、以下を掲載することを確認した。

- ・産学連携事業（産学連携人材ニーズ交流会／大学教員による企業現場研修）

⑥「募集」は、以下を掲載することを確認した。

- ・ICT利用による教育改善研究発表会開催要項
- ・教育事例等コンテンツオンデマンド配信案内

2. その他（次回の日程について）

次回は2023年度No.1（6月号）の原稿の確認を中心に検討することとし、開催日時は、5月23日（火）18時より、引き続きネット（ZOOM会議）にて開催することとした。